



一期一会

- 1 -

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

新学期が始まって2週間あまりたちました

保護者の皆さま初めまして。4月から校長として着任しました成瀬彰と申します。一生懸命に努めてまいりますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月7日に入学式、翌8日に始業式を開き、今年度がスタートしました。入学式、始業式では次のような話をしました。

■入学式式辞

みなさん、小学生と中学生の違いは何だと思えますか。

まず一つ目として、私は「**自分で自分を育てる気持ち**」だと思います。皆さんこれまでは、多くのことをおうちの方や、リーダー的な誰かの言う通りにしていれば、それなりにやってこられた事と思います。皆さんが赤ちゃんで歩き始めた頃は、おうちの人は転んでけがしないようにいつも手を差し伸べてくださっていたことでしょうか。小学生の時にも皆さんは大切に育てられ、時には自分の気持ちを保護者の方が皆さんに代わって他の人に伝えてくださったこともあったかもしれません。

今日から皆さんは中学生です。中学校では、まず自分はどうしたいのか、また自分はどうするべきかを自分の頭で考え、自分で自分の進む方向を決める力をつける練習をしてほしいと思います。「失敗したらどうしよう」そんな心配はいりません。逆に失敗した時こそが成長できるチャンスなのです。失敗をすれば、先生が助けてくれます。そして、先輩や皆さんのまわりにいる友だちも助けてくれることでしょうか。失敗したり困ったりしたときにはおうちの人だけでなく、周りの人に相談できたり助けを求められたりできるということが皆さんの自立の第一歩につながると思っています。

二つ目に、**卒業後の進路を考える**ということが小学校と中学校の大きな違いです。少し気が早い話になりますが皆さんは三年後にこの中学校を卒業します。三年生の秋には自分の進む道を自分で決めなくてはなりません。中学校卒業後には就職することもできる年齢になるのです。実際に、中学卒業後に社会に出て働いている先輩もいます。高校に進学するにしても、工業高校、商業高校、コンピューターのことを勉強できる学校、看護学科や保育コース、大学進学コースなどいろいろな学校や学科があります。何を大切に自分の進む学校や学科を選ぶのかを自分で考えて決めないといけなのです。三年間自分としっかり向き合い自分で考えて決めることのできる人になってください。

三つ目に、**中学校時代の友だちは一生の宝物**になる、ということです。

クラスにはいろいろな人がいます。話すのが好きな人、無口な人、障害や病気がある人、スポーツの得意な人、苦手な人、読書の好きな人、。それぞれの事情やお互いの良さを知って一人ひとりを尊重するクラス、学年を作ってください。いろいろな人たちと仲良くなって自分自身の世界を広げてください。一人ひとりの前向きな頑張りや認め合える、みんなが居心地の良い素敵な学年を全員で作ってくれることを期待しています。

新入生の皆さん、現在、新型コロナウイルスの拡大により地



球全体が大変な課題に直面しています。しかし人類はこれまでも様々な課題を克服してきました。それは絶え間ない学習と教育が世代を超えて受け継がれ、人類の賢さが蓄積されてきたからなのです。皆さんも将来社会の一員として世の中に出ていく日がやってきました。よりよい社会を作るためしっかりと力をつける3年間としてください。

■始業式の話

春休みに15中に来て、何人かの15中生とすれ違う時にどの子も「こんにちは」と挨拶をしてくれて、とても感じがよかったです。3月の終わりには15中の吹奏楽部のコンサートを見させてもらい、4月になってからもグラウンドや体育館で活動している部員の皆さんの姿を見ても一生懸命でとても好印象です。校舎もきれいでみんな頑張っていて掃除してくれているんだろうなと思っています。今年新しく来られた先生方は私のほかにもたくさんおられますが、どうぞよろしくをお願いします。

さて2,3年生は今日新しいクラスが発表されて、どうでしたか。前のクラスが楽しければ楽しいほど、新しいクラスのちょっとした所が気になって戻りたいとか考えてしまうものです。でも、元のクラスに戻ることは絶対にはないのです。新しいクラスを皆で作っていきと開き直るしかありません。新しい気持ちで新しい集団を作っていくことは、大人になってからもとても大切な力です。その練習です。後ろ向きな気持ちをいつまでも引きずらないように。前向きな気持ちがあればきっと前と同じかそれよりも楽しいクラスが作れると思います。

クラスでもクラブでも集団を作っていくのは、君たち自身です。中学生なのだから、先生の力に頼らずに自分たちの力だけで良い集団にしてやろうという意気込みを見せてください。クラスを作っていくのは、みんなの気持ちや行動なのです。では、どうすれば良いクラスができるでしょうか。

よい集団には、リーダーが必要です。みんなの意見を聞いてまとめたり、「みんなでこうして行こう」と方向性を呼び掛けたりする人です。勇気を出してみんなの前に出てみてください。クラス代表や班長、クラブの部長など、まとまった集団を作るには、リーダーシップをとる人が必要です。リーダーシップと言っても、リーダーの人が偉そうにしている周りはいつもそれに従わないといけなく、という力の上下関係ができてしまうと、多くの方はその集団にいるのが苦痛になってきます。リーダーになる人の大切な資質は、偉そうにすることではなく、みんなの話をよく聞いてできるだけみんなが納得できる方法を見つけることです。去年のクラスやクラブ活動でも、そんないい感じのリーダーはいませんでしたか？

そして、リーダーとなる人が出たら、その人を支える人たちがが必要です。自分はリーダーになる勇気がなくても、よい集団を作るためにできることはたくさんあるのです。それをフォローシップと言います。リーダーの補足をしたりリーダーに自分のアイデアを提案したり、もしリーダーが間違っているなと思ったら「もっとこうしてみた方がええんとちゃう？」など言うことも良いと思います。



(裏面に続きます)

緊急事態宣言が発令されました

4月23日に緊急事態宣言が発令されました。今、いつ誰がかかってもおかしくない状況になっています。一人ひとりが感染しないよう気をつけないといけないのはもちろんですが、十五中でも誰かがかかることを想定しておかないといけません。もし皆さんまたは家族の方がPCR検査を受けることになった場合は、すぐに学校に連絡をしてください。その場合「出席停止」となり欠席日数としてカウントはされません。

もし自分がかかってしまったら、他の人たちにはどうして欲しいですか？「かかったん誰なん誰なん？」「あいつらしいで。」「えー最悪」などと口々に噂してほしいですか？そんなことは誰でも嫌ですよね。人が嫌がることはやめましょう、というのは幼稚園でも教わることです。中学生的に言えば、自分がその人の立場になったとして行動しよう、それがその人の人権を守ることに繋がりますよ、ということです。治ったらその人が普通の生活にスムーズに戻れるような環境を作れるのは周りのみなさんの力です。もし身近な人が感染したとしても次の様な温かい学校であって欲しいと願っています。

- (1) 誰がかかったのかを、犯人捜しのように暴きたてるようなことはやめてください。誰であっても十五中の仲間です。早い回復を願いましょう。
- (2) 感染した人を非難したり中傷したりしないようにしましょう。よほど注意をしても感染してしまうことがあります。その人に責任はありません。
- (3) 病気が治って学校に戻った人を温かく迎え入れてあげてください。風邪が治って教室に戻ることに全く同じことです。温かい声かけをお願いします！

クラブ活動ができなくなったり、マスクの着用や昼食時に黙って食べたりなど、^{きょうくつ}窮屈ですが、永遠にこの状態が続くわけではありません。ワクチンの接種も始まっていますので、マスク着用、手洗い、換気などの対策をしっかりすればやがて収束する日がやってきます。コロナに負けずに今の時期を何とかやりすごしましょう。

学校運営協議会を開催します

本校は、今年度からコミュニティスクールとして年3回学校運営協議会を開催します。コミュニティスクールとは、地域の方々に学校運営に参画していただき、学校の方針を承認していただいたうえで一緒に教育活動を作る取り組みをしたり、学校の教育活動を支援していただくためにいろいろな手助けをお願いしたりしながら、子どもたちのために「社会に開かれた教育課程」を実現するためのしくみです。委員さんとしては、PTA代表の方や元保護者の方、地域教育協議会や健全育成会の代表の方、教職員代表、学校支援コーディネーターの方、学識経験者など10名の方に集まっていたいただき協議してまいります。

今年度第1回の運営協議委員会を次の日程で行います。もし傍聴を希望される方がありましたら、教頭あてお電話にて事前にお申し込みください。☎6-6848-6761
(ただし緊急事態宣言中ですので、あまり多人数になる場合はお断りする場合があります。ご了承ください)

第十五中学校 第1回学校運営協議会
日時 4月28日(水)18時から
場所 第十五中 多目的室